

まんだら通信

平成19年(2007)02月 佛誕2573年

295-0103 千葉県南房総市白浜町滝口1084
真言宗智山派 天神山 紫雲寺 高橋 龍渉
郵便振替 00120-2-43163 紫雲寺
TEL0470-38-4740/FAX 0470-30-5040
URL <http://www.awa.or.jp/home/ryusho/>
E-mail ryusho@awa.or.jp

岡田の子宝不動

去年はどうしても都合がつかず、お参りに行けなかった一月二十八日、館山市岡田地区の『子宝不動』。

今年も、時間をやり繰りしてお参りに行ってきました。

数年前、初めてお参りした時はお坊さんは二人でしたが、今年はお導師として神余自性院の御前さまの他に、波左間の光明院と藤原、藤栄寺の御前さまのお二人が加わって、本格的な法要でした。

お堂に入り切れない人達は、庭からお参りしていましたが、所狭しと奉納された犬の縫いぐるみでも分かるように、子宝に恵まれないと思う人は沢山おいでしようから、房日新聞などに広告をしたらどうでしょう、と聞いていたら地区の役員さんが「考えないでもないけれど、やっぱり口コミがいいんじゃないでしょうか。」というお返事でした。



お参りの人達の対応に無理がないよう、参詣のお客さんにゆつくりお参りしてもいいという、近頃余り聞くことのない清々しいお考えですね。

今年も縫いぐるみを抱いてお祈りしている若いご夫婦や、可愛い赤ちゃんを抱っこしたお母さん達など、こういうところでは珍しい光景でした。

矜持ということ

死語になったかと思うほど、最近は何も聞かない言葉ですが、字引を引くと「きょうじ。きんじ(とも読む)自信と誇り。プライド。」とあります。

それにしても、この頃の新聞テレビを見る度に嫌になるのは私だけでしょうか。大新聞や、地方新聞の記者がよその新聞記事を盗用。有名な菓子メーカーが、期限切れの材料で製品を作って出荷。テレビの人気番組が、実は嘘っぱちを放送していたなんていうのもありましたね。

「女性も子どもを産む機械」と失言した大臣を辞めさせなければ、国会審議に足りない息巻いていた野党が、応援していた知事候補が落選すると、さつさと審議に出てきたり、この人達にプライドなどというものがあろうかと首を傾げるよりも、こんな人達がこの国の世論を導いたり、政治をするのかと思うと悲しくさえなります。

このような、「見つからなければ」、「次の選挙で当選するには」といった目先の利害だけを見て、本来すべきことをしない人が余りにも多いのが今の日本の姿です。合併問題が賑やかだった頃「国から来るお金が少ないのなら、自分たちのお金を出したらどうなのかな。」と言ったら、「ダメだ、高橋さん。そんなこと言った人は、次の選挙で落つこちますよ。」と、即座に

言われました。

私は脳細胞が少ないから見当違いを言っているのかなあと思いますが、お寺は開闢以来ずっと自分達のお寺は自分たちで守ってきましたよね。

その気になれば、出来ない話ではない筈だと思うのですが、それが、本来の地方自治というものでしょう。

徳川さまの江戸時代は、『お上』のお金など当てにせず、みんなそうやって自分たちの村や町を作ってきたのですから。

『男の本懐』(川北義則 P H P 研究所 07年2月9日発行)という、新しい本があります。

その一節をご紹介します。今から八十四年前の一九二二年、気鋭のノーベル賞学者として、アルバート・アインシュタイン博士が極東の新興国日本にやってきた。彼は四十日滞在してあちこちを見て回った。そして日本を去るに当たって次の言葉を残したという。

「...世界は進むだけ進み、その間に、幾度も闘争を繰り返すであろう。そして、その闘争に疲れ果てる時が来る。その時、世界人類は平和を求め、そのための盟主が必要になる。その盟主とは、歴史の古くまた尊い家柄でなければならぬ。

世界の文化は、アジアに始まってアジアに帰る。そして、アジアの最高峰、日本に立ち戻らねばならない。われわれは神に感謝する。天がわれわれに日本と言う尊い国を作ってくれたことを。」

また藤原正彦さんの『国家の品格』には、大正末期から昭和初期にかけて、フランスの駐日大使を務めたことのある

フランスの詩人ポール・クロードルは、大東亜戦争で日本の負けがはっきりしてきた昭和十八年に、パリでこう言ったそうです。「日本人は貧しいが高貴だ。世界でどうしても生き残って欲しい民族を挙げるとしたら、それは日本人だ。」と。

片や故国を追われて二千年、亡国の悲劇に生きたユダヤの末裔であり、片方は世界文化の中心と自負するフランス人の言葉であることを思うと、その言葉は実に重く思います。

何よりも、今の日本人全体が成長神話の後遺症で疲れています。

これを軌道修正するには、分を弁え節度を守る、慾を少し引つ込める。そして、みつともないことをしな、という痩せ我慢をする。これで取敢ず、楽になる筈です。



◆今朝、今年初めてのウグイスを聞きました。去年の歌い方を思い出しながらという風情で。

それにしても、既に2月。今年は本当の冬が来るのでしょうか。北海道の清里町からのメールに「こちら、暖冬で流氷が接岸せず、観光にも影響が出ていますし、このままでは農産物にも影響が出るでしょう。」ということでした。

◆『房州わんだらんど』というSNSが出来ました。インターネット上の会員制の広場・・・というところでしょうか。

覗いてみたいという方はご連絡下さい。◆以前にも載せたと思いますが、オオイヌノフグリ【ごまのはぐさ科クガイソウ属】です。花は小指の半分ほどですね。

2007/02/09 龍渉

余滴